

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.9〉

〈西宇部③ 小学校歌〉

西宇部小（川西俊之校長、274人）は1981年4月、厚南地区の人口増に伴い厚南小学校区から分離する形で開校した。自然豊かな小高い丘の上に位置し、学校と保護者、地域住民が連携した活力あふれる学校づくりを推進している。

校歌

一 仰ぐ霜降 みどり濃く
瀬戸の内海 遠く見る
小高き丘の 学び舎は
からだ強くと きたえゆく
からだ強くと きたえゆく
西宇部校よ わが母校

二 厚東の流れ 清らかに
郷土のうらおい 実るごと
教えの庭に 集う子は
こころ正しく 伸びてゆく
こころ正しく 伸びてゆく
西宇部校よ わが母校

三 明るい笑顔 みちみちて
ともに手をとり はげみ合い
知徳を学ぶ ともがきは
みな美しく 育ちゆく
みな美しく 育ちゆく
西宇部校よ わが母校



西宇部小

校訓の「強く、正しく、美しく」表現

学校関係者や保護者有志が編集した「開校10周年記念誌」によると、高村工初代校長を中心とした校歌選定委員会が同年9月に発足し、翌年1月に待望の校歌

作詞は一般公募の地元住民

が誕生した。地域の特長や校訓の「強く、正しく、美しく」が織り込まれた七五調の歌詞とリズムミカルなメロディーが特徴で、歌詞は一般公募で集まった17編の中から選んだ。委員による協議の場が複数持たれ、最終的には職員会で全員の賛成を得て、同地区の吉永繁さんの作品に決めた。

歌詞の1番で、学校から見渡せる自然環境に「強く」を織り込み、2番には厚南平野を潤す厚東川に「正しく」を、3番に人間や人格の美し

が誕生した。地域の特長や校訓の「強く、正しく、美しく」が織り込まれた七五調の歌詞とリズムミカルなメロディーが特徴で、歌詞は一般公募で集まった17編の中から選んだ。委員による協議の場が複数持たれ、最終的には職員会で全員の賛成を得て、同地区の吉永繁さんの作品に決めた。

歌詞の1番で、学校から見渡せる自然環境に「強く」を織り込み、2番には厚南平野を潤す厚東川に「正しく」を、3番に人間や人格の美し

さ、調和を指した「美しく」が盛り込まれている。作曲は当時、下松市の笠戸島小の校長だった高橋正剛さんが担当。宇部市の博愛幼稚園や山口市の上郷小などの校歌を作曲し、県芸術祭作曲奨励賞の受賞歴もある「作曲校長」として知られた人物だった。高村初代校長が記した「宇部市立西宇部小学校開校時の歩み」によると、12月に吉永さんの詩を携えて作曲の依頼に笠戸島を訪ね、快諾を得たことがつづられている。

高橋さんから校歌の楽譜と録音テープが届いたのは年が明けた1月の中旬。各教室からは歌声が響き、校歌を口ずさみながら廊下を歩く子どももいたという。その月末にあつた校歌発表会では、作詞・作曲を担った2人に感謝状が贈られた他、高橋さんによる歌唱指導も行われた。

川西校長（52）は自身の経験を振り返りながら「校歌は学校生活や地域の記憶を引き出す鍵になる」としみじみ語る。「コロナ禍で歌う機会が減っているが、素晴らしい歌詞とメロディーを子どもたちへ大切に伝えていきたい」と話している。